

「読むこと」の教材研究（1年）

【物語文教材の系統表】

学年		1年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		リズムをたのしもう	こえにだしてよもう	おはなしをたのしもう
教材名		「おおきなかぶ」	「くじらぐも」	「たぬきの糸車」
ねらい		場面の様子や登場人物を想像し、繰り返しの言葉や文章のリズムを生かして音読することができる。	場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読むことができる。	登場人物の行動を中心に、場面の様子に注意して読み、語のまとまりや言葉の響きなどについて考えながら音読することができる。
問題解決的な言語活動		登場人物になりきって音読発表会をする。	動作化を取り入れながら音読発表会をする。	好きな場面を選んで、動作化を取り入れながら、音読発表会をする。
段落		意味段落 9	意味段落 5	意味段落 5
文章構成表現の特徴		○一、二、三の場面では、おじさんの願いや期待、かぶができたときの喜び、抜けないときなどの心情・表情・つぶやき。 ○八、九の場面では、協力している人物達の期待や力強さ。 ○「とうとう」抜けたときの一同の喜び。 ○リズムカルな繰り返しの言葉。	○「身近な現実」→「幻想の世界、想像の世界」→「現実の時間と空間」 ○クジラと子どもの会話文を中心に場面がかわる。 ○表現の対象がはっきり捉えられている。「子どもたちが」→「くじらも」 ○主語・述語の省略（会話が生き生きと弾んで聞こえる効果がある）	○「たぬきのいたずら心」と「おかみさんとたぬきの心の交流」が柱になっている。 ○人物の提示の仕方（きこりのふうふ→おかみさん）（目玉→たぬき） ○擬声語と擬態語がうまく組み合わせり、リズムカルに読むことができる。
つけたい力	読むこと	○音読の工夫（繰り返しやリズム） ○場面の様子 ○場面の様子が伝わるように、登場人物になりきって音読する。	○音読の工夫（会話文のやりとり） ○挿絵と場面の变化（現実—空想—現実） ○会話や言葉（叙述）を基に場面の様子を思い描いたり、登場人物の気持ちを想像したりすることができる。	○音読の工夫（昔話の口調） ○人物の行動から場面の様子を捉える。 ○擬声語、擬態語 ○たぬきの気持ちを想像する。 ○ユーモラスな情景からたぬきとおかみさんの行動や場面を想像する。
	用語	会話文・登場人物・繰り返しの言葉	会話文・登場人物・挿絵の活用（くじらと子どもの位置）・センチメートル・言葉を重ねた言い方	会話文・登場人物・糸車・挿絵の活用・繰り返しの言葉
学んだことの活用場面		○他の国の民話「てぶくろ」「3びきのくま」「三びきのやぎのがらがらどん」の並行読書をする。	○中川李枝子の作品「ぐりとぐら」「そらいろのたね」「かえるのエルタ」の並行読書をする。	○民話「ねずみのすもう」の読み聞かせをする。
広げる深める交流	内容	○役割演技を取り入れた音読について	○役割演技を取り入れた音読について	○工夫した音読について
	方法形態形式	○ペアで、どのように演技するか、どのように音読するかを伝え合う。（音読発表会は、全体で交流する。）	○ペアで、どのように演技するか、どのように音読するかを伝え合う。（音読発表会は、全体で交流する。）	○ペアで、どのように音読するかを伝え合う。（音読発表会は、自分の音読の工夫を伝えてから発表する。）

「読むこと」の教材研究（1年）

【説明文教材の系統表】

学年		1年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		じゅんじょにきをつけてよもう	くらべてよもう	ちがいをかんがえてよもう
教材名		「くちばし」	「じどう車くらべ」	「どうぶつの赤ちゃん」
ねらい		説明の順序や内容を考えながら読み、文章の内容と自分の経験や知識とを結び付けて感想をもつことができる。	知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。	時間的な順序や事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、本や文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができる。
問題解決的な言語活動		生き物について説明している文章を読み、くちばしずかんを作る。	「仕事」と「作り」を結び付けて、じどう車ずかんを作る。	「違い」をつかみながら読み、他のどうぶつの赤ちゃんクイズを作る。
段落		形式段落 1 5 意味段落 3	形式段落 9 意味段落 4	形式段落 7 意味段落 3
文章構成表現の特徴		<p>○「問い」＋「答え」の繰り返しの構成</p> <p>事例 1、2、3</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">話題の提示</div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 形 答 問 く の え い ち わ の わ ば け け し 1 の 形 </div> </div> <p>・基本文型を繰り返し読む過程で、文型に慣れる。</p>	<p>○「二つの問い」＋「答え」＋「答え」＋「答え」の文章構成</p> <p>事例 1、2、3</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">二つの問い</div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 作 事 じ り ど う 1 車 の の 仕 </div> </div> <p>・～います。～あります。という状態を説明する表現が使われている。</p>	<p>○「二つの問い」＋「答え」＋「答え」の文章構成</p> <p>事例 1、2</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">問題提起</div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 生 動 ま れ 物 た 様 名 り 様 子 </div> </div> <p>・肯定と否定の表現が使われている。</p>
つきたい力	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ○くちばしの形→わけ ○問いを表す文型「～でしょう」 ○答えの文型「これは～です。」 ○様子を表す描写「するどくがあった」「ふとくて」など 	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車の仕事←作り「しごと」と「つくり」を読み取る ○比較の文 ○問いと答えの文「～しごとをしています」「～つくってあります」「～になっています」 ○文相互の関係「そのために」 ○比喩表現 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間的順序 ○比較の文 ○問いと答えの文「生まれたときは、～です。」「～になります。」 ○時間の表現の仕方「生まれたとき」「2ヶ月くらい」「1年くらい」「つぎの日には」 ○様子を表す表現の仕方「～くらい」「もう」「たった」
	用語	「問い」の文・「答え」の文・助詞「は」	「問い」の文・「答え」の文・相互を関係づける接続詞「そのために」	「問い」の文・「答え」の文・「～くらい」「～ほど」のおおよその表現
学んだことの活用場面		<ul style="list-style-type: none"> ○科学読み物や図鑑を読む。 ○生活科「いきものとなかよし」 	<ul style="list-style-type: none"> ○はたらく自動車の本を読む。 ○自動車図鑑を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どうぶつの赤ちゃんの本を読む。
広げる深める交流	内容	○自分の好きな鳥のくちばしについて	○自分の好きなはたらくじどう車について	○自分の好きなどうぶつの赤ちゃんについて
	方法形態形式	○教師を中心に全体で交流	○教師を中心に全体で交流	○教師を中心に全体で交流

「読むこと」の教材研究（2年）

【物語文教材の系統表】

学年		2年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		お話を読んで、かんそうを書こう	音読げきをしよう	お話を、そうぞうしながら読もう
教材名		「スイミー」	「お手紙」	「スーホの白い馬」
ねらい		場面の様子について、人物の行動や場面の様子を想像しながら読み、大事な言葉や文を書き抜き、それをもとに感想を書くことができる。	物語の場面の様子を豊かに想像しながら読み、場面の様子や登場人物の行動が表れるように音読を工夫し、音読劇をすることができる。	場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、物語から心に残った文や文章を書き抜き、自分の経験と結び付けて、感想を書くことができる。
問題解決的な言語活動		物語を読んで、人物の行動や場面の様子を想像しスイミーへお手紙を書き、交流する。	場面の様子や登場人物の行動が表れるような音読劇の発表会をする。	おすすめの本を選び、あらすじをまとめたり、自分と比べた感想を紹介し、交流する。
段落		意味段落 5	意味段落 3	意味段落 6
文章構成表現の特徴		○スイミーの行動や会話を中心にして場面が変わる。 ○主語よ述語が捉えやすい表現	○がまくんの家→かえるくんの家→がまくんの家と場面が移り変わる。 ○会話文	○前書き→1～4の場面→結びの構成になっている。 ○複合語が用いられている。
つきたい力	読むこと	○人物の行動 ○場面の様子 ○感想の表現	○音読の工夫 ○声の出し方 ○場面の様子	○人物の行動、言動 ○場面の様子 ○物語の流れ ○あらすじのまとめ方
	用語	たとえ・感想・人物・様子・行動・場面・会話	音読劇・場面・様子・行動・会話・動作	人物・様子・場面・行動・会話・あらすじ
学んだことの活用場面		○レオ＝レオニのシリーズ本の並行読書で感想を書く	○がまくんとかえるくんシリーズ本の並行読書	○昔話や様々な国の民話を並行読書
広げる深める交流	内容	○スイミーに書いたお手紙の内容について（同じ意見や異なる意見があることに気付く） ○物語全体の感想について	○音読劇での工夫の仕方について	○本の紹介の仕方について ○おすすめの本の紹介会
	方法形態形式	○ペアで交流 ○同じ場面を選んで感想を書いた人同士で交流	○音読の工夫について3人グループで交流 ○音読発表会は全体で交流	○本の紹介する内容について3人グループで交流 ○自分が選んだ本の紹介を他学年に発表する。

「読むこと」の教材研究（2年）

【説明文教材の系統表】

学年		2年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		じゅんじょに気をつけて読もう	読んで考えたことを話そう	知っていることとつなげて読もう
教材名		「たんぼぼのちえ」	「どうぶつ園のじゅうい」	「おにごっこ」
ねらい		時間の順序や理由を表す言葉に着目し、様子とそのわけを考えながら説明的文章を読み、大事な言葉や文を書き抜き、経験と結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。	時間的な順序を考えながら読み、自分の知識や経験と結び付けて感想をまとめ発表し合うことができる。	自分の経験と結び付けて読んだり、身近な遊びを説明している文章を説明の順序にしたがって読み、書かれている内容を整理することができる。
問題解決的な言語活動		読んでわかったことを順序に気をつけて、ちえごとにまとめる。	時間的な順序を考えながら読んで、まとめ自分の知っていることや経験も踏まえて考えたことを話す。	1年生にあそびを紹介するためにあそびのひみつ大辞典を作る。
段落		形式段落 10 意味段落 6	形式段落 7 意味段落 7	形式段落 6 意味段落 6
文章構成表現の特徴				
つきたい力	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ○順序 ○様子→わけ(理由を表す文末表現)「～のです」「～からです」 ○様子を表す文「～ます」「～ありません」 ○順序を表す言葉 ○考えや思ったことを表す言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間や事柄の順序 ○仕事→わけ ○順序やわけを表す言葉 ○文末表現による違い「～です」「～ます」「～ました」 	<ul style="list-style-type: none"> ○順序 ○経験と比較する ○遊び方→わけ ○問いの文「～でしょう」 ○動きを表す言葉「にげる」「行く」「つかまえる」
	用語	順序・はじめ・中・おわり・わけ・考えたこと	順序・はじめ・中・おわり・わけ	はじめ・中・終わり・順序・わけ・比べる
学んだことの活用場面		○生活科でのたんぼぼの観察に活用する	○動物に関する本を読む	○遊びの秘密大辞典を作る
広げる深める交流	内容	○たんぼぼのちえで一番心に残ったところについて	○いつ、動物に、どんなちりょうをしたか、ちりょうをしてどうなるかについて ○順序が分かるように書いた、学校での1日の様子について	○1年生に紹介したい遊びの遊び方や遊びのおもしろさについて
	方法形態形式	○それぞれの知恵についてはペアで話し合う。 ○たんぼぼのちえで一番心に残ったところを書き抜き、どうして心に残ったのかは全体で交流	○順序や内容をつかむための話し合いはペアで話し合う。 ○自分の学校での一日についてグループで交流し、感想を伝え合う。	○同じ遊びを選んだ子同士で交流 ○他学年に説明

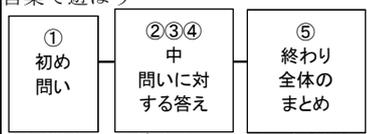
「読むこと」の教材研究（3年）

【物語文教材の系統表】

学年		3年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		場面のようなすを思いうかべ、音読しよう	場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう	心にのこったことを、自分の言葉で表そう
教材名		「きつつきの商売」	「ちいちゃんのかげおくり」	「モチモチの木」
ねらい		場面の様子や違いに注意しながら音読を工夫し、発表することができる。	場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。	登場人物の行動や会話から、人物の人柄や気持ちを捉えて読むことができる。
問題解決的な言語活動		登場人物のしたことや言ったことなどから、場面の様子を思いうかべ、音読発表会をする。	細かい点に注意しながら読み、場面をまとめたり、文を引用したりして感想文を書く。	登場人物の人柄や気持ちを捉えて読み、心に残ったことを中心に本文を引用してポスターを作る。
段落		意味段落 2	意味段落 5	意味段落 5
文章構成 表現の特徴		物語の設定→出来事①→出来事② ○擬声語 ○聴覚を研ぎ澄ませた描写	出来事①→出来事②→出来事③→出来事④→現在 ○物語の展開を象徴する空の描写 ○第五場面だけが現在の様子となっていて、平和についての話し合いにつなげることができる。	起承転結 ○五つの場面が小見出しで明確に分けられている。 ○比喩表現
つけた たい力	読むこと	○場面の様子を捉え、登場人物の行動やそのときの様子を読み取る。 ○場面の様子や違いを意識し、音読で、声の出し方（声の強弱、速さ、高さ、抑揚、間など）を工夫する。	○場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読む。 ○感想の内容や書き方を比較し、考えの明確さなどについて意見を伝え合う。	○会話や心情表現、行動を表す文などから、人柄が分かることを知る。 ○心に残ったことを交流し、一人一人の感じ方の違いに気づく。 ○心に残ったことを表すために、本文を適切に引用する。
	用語	場面・登場人物・音読	場面・登場人物・引用	会話文・地の文・語り手（ナレーター）・場面・登場人物・人柄・引用・比喩
学んだこと の活用場面		○日常の読書生活を豊かにする。 ○相手のいる場面で自分の意図を伝えるために話すとき。	○戦争について書かれた本、「えんぴつびな」「かわいそうなぞう」「おかあさんの木」を読む。 ○読書感想文を書く。	○斎藤隆介さんの作品、「かみなりむすめ」「花さき山」「ふき」「半日村」「三コ」を読む。 ○文章を書くときに比喩表現を使う。 ○ポスター形式でのまとめ方。
広げる 深める 交流	内容	○場面の様子、登場人物の心情の読み取りについて ○場面の様子や違いを意識した音読について	○人物の行動、情景、会話などの読み取りについて ○感想について	○会話や心情表現、行動を表す文などの読み取りについて ○心に残ったことの交流について
	方法 形態 形式	○全文を掲示し、付箋を用いて同じ意見をもつ児童同士でペア交流をする。 ○ペアで音読練習 ○生活班グループでの音読発表会をし、口答で感想を伝える。	○全文を掲示し、付箋を用いて同じ意見をもつ児童同士でペア交流をする。 ○生活班グループで感想文を読み合い、ワークシートに感じ方の違いを書く。 ○感想文を文集にし、学級文庫の一つとする。	○全文を掲示し、付箋を用いて同じ意見をもつ児童同士でペア交流をする。 ○ポスターセッション ○グループで回し読み、付箋に感想を書いて貼る。 ○教室に掲示しておき、感想カードで伝え合う。

「読むこと」の教材研究（3年）

【説明文教材の系統表】

学年		3年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		まとまりをとらえて読み、感想を話そう	説明の工夫について話し合おう	考えの進め方をとらえて、科学読み物を紹介しよう
教材名		「言葉で遊ぼう」 「こまを楽しむ」	「すがたをかえる大豆」	「ありの行列」
ねらい		「段落」について知り、「初め」「中」「終わり」の文章構成や、それぞれの段落の内容を捉えることができる。	中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。	「問い」から「答え」までの考えの進め方を段落のつながりに気をつけて読むことができる。 科学読み物を紹介するために、文章の内容を適切に引用したりまとめたりすることができる。
問題解決的な言語活動		「初め」「中」「終わり」の文章構成を捉え、大事な言葉や文に注意しながら読み、文章を読んで考えたことを適切な言葉で発表し合う。 一番遊んでみたいこまを一つ選び、そのこまの特徴や選んだ理由を友達に話す。	段落ごとに、中心となる言葉や文を捉えて読み、筆者の説明の仕方にはどのような工夫があるのかを見つけて話し合う。 食べ物に関する本を読み、内容紹介、感想、説明の工夫について簡単に報告し合う。	「はじめ」「中」「終わり」の段落構成、「問い」と「答え」、接続語や指示語を確かめながら、科学読み物を読み、友達に紹介する。 考えの進め方をとらえながら、科学読み物を読み、本の内容を紹介する文章を書いて友達に話す。
段落		「言葉で遊ぼう」形式5 意味3 「こまを楽しむ」形式8 意味3	形式段落8 意味段落3	形式段落9 意味段落3
文章構成表現の特徴		言葉で遊ぼう  ○見開きで完結するシンプルな説明文。 こまを楽しむ  ○「言葉で遊ぼう」の学びを生かした文章構成。	 ○大豆の加工法を紹介した解説型の説明文である。 ○食育の観点からも貴重な題材を扱っている。	 ○「中」の構成が、事例を列挙したのではなく、考えの進め方に沿って論が展開していく。 ○仮説や推理を含めた説明文である。
つきたい力	読むこと	○段落について知る。 ○「初め」「中」「終わり」の文章構成、それぞれの段落の内容を捉える。 ○大事な言葉や文に注意しながら読む。 ○文章を読んで考えたことを適切な言葉で発表し、一人一人の捉え方の違いに気づく。	○中心となる語や文を捉える。 ○段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する。 ○説明の工夫について理解する。 ○目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書く。 ○文章構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら、段落に分けて書く。	○紹介するために、文章の内容を適切に引用したりまとめたりする。 ○実験と考察に注意しながら各段落の内意用を読み取り、論の進め方を適切に捉えることができる。 ○指示語や接続語には文章の論理的な関係を作る働きがあることを理解する。 ○紹介文を読み合い、一人一人の捉え方に違いがあることに気づく。
	用語	段落・初め/中/終わり・文章構成	段落・初め/中/終わり・文章構成・中心文	段落・初め/中/終わり・文章構成・中心文・引用
学んだことの活用場面		○総合、社会 調べたことをまとめて発表する。 ○国語 読み物を読んで感想文を書く。	○総合、社会 調べたことをまとめて発表する。 ○国語 読み物を読んで感想文を書く。	○総合、社会 調べたことをまとめて発表する。 ○国語 読み物を読んで感想文を書く。
広げる深める交流	内容	○文章構成について ○大事な言葉や文について ○文章を読んで考えたことについて	○中心文について ○段落相互の関係について ○説明の工夫の仕方について	○中心文について ○論の進め方について ○指示語や接続語について
	方法形態形式	○全文を掲示し、付箋を用いて同じ意見をもつ児童同士でペア交流をする。 ○選んだこまについて、グループになり、書いたものを発表する。	○全文を掲示し、付箋を用いて同じ意見の児童を見つけてペアで交流する。 ○食べ物に関する本の感想報告を、違う本を選んだ友達に対して、グループで回し読み、ワークシートに感想を書く。	○全文を掲示し、付箋を用いて同じ意見の児童を見つけてペアで交流する。 ○違う本を選んだ友達に対して、グループで紹介文を回して読み、付箋に感想を書いて貼る。

「読むこと」の教材研究（4年）

【物語文教材の系統表】

学年		4年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		物語を読んでしょうかいしよう	読んで考えたことを話し合おう	読んで感じたことが伝わるように音読しよう
教材名		「一つの花」	「ごんぎつね」	「初雪の降る日」
ねらい		場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて上述をもとに想像して読むことができる。	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化や情景を読み取ることができる。
問題解決的な言語活動		「平和」をテーマにした本を読み紹介し合う。	新見南吉の作品を読み、紹介し合う。	人物の行動や心情がわかるようにして工夫して、音読劇をする。
段落		意味段落3	意味段落6	意味段落8
文章構成表現の特徴		○戦争中と「十年後」の戦後の場面 で構成されている ○情景描写や会話から登場人物を想像 できる	○1～4段落は、主人公のごんの視点 から、5段落は兵十の視点から書かれ ている ○方言を用いた語りや台詞	○主人公の女の子の行動を基に物語が 構成されている。 ○リズムや語感を生み出す表現が用い られている
つけたい力	読むこと	○物語の組み立てや表現の特徴 ○登場人物の会話や行動とそれについ での描写から、人物像とその心情の変 化を読み取る。	○物語の組み立てや表現の特徴 ○登場人物の性格や気持ちの変化、情 景	○場面の様子を表す言葉や表現 ○登場人物の性格や気持ちの変化、情 景
	用語	心情・描写・人物像・感想	相互関係・心情・描写・人物像・感想	情景・心情・描写・感想・朗読
学んだことの活用場面		○「紙びな」「まちんと」「せかいの ひとびと」「すみれ島」「彼岸花はき つねのかんざし」の並行読書をする。	○「きつねの窓」「手ぶくろを買い に」「キツネのホイッティ」「雪わた り」の並行読書をする。	○「雪窓」「白樺のテーブル」「ねこ じゃらしの野原」「花のにおう町」 「花豆の煮えるまで」の並行読書をする。
広げる深める交流	内容	○登場人物の心情が表れている叙述に ついて ○感想について	○登場人物の心情が表れている叙述に ついて ○感想について ○主人公の変容について	○登場人物の心情が表れている叙述に ついて ○感想について ○音読発表会の仕方
	方法形態形式	○4人班で交流 ○同じ叙述を選んだ人で交流	○4人班で交流 ○同じ叙述を選んだ人で交流 ○違う意見の人と交流	○4人班で交流 ○同じ叙述を選んだ人で交流 ○違う意見の人と交流 ○音読発表会

「読むこと」の教材研究（4年）

【説明文教材の系統表】

学年		4年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		きょうみをもったところを發表しよう	説明のしかたについて考えよう	科学読み物をしょうかいしよう
教材名		「大きな力を出す」 「動いて、考えて、また動く」	「アップとルーズで伝える」	「ウナギのなぞを追って」
ねらい		筆者の考えを読み取るために、事実と意見の関係をとらえて、段落相互の関係を考えることができる。	それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。	事実と考察の関係を押さえて読み、自分が興味をもったところ、関心したところを中心に、文章を要約したり引用したりして紹介することができる。
問題解決的な言語活動		実際に動いて、考えて、また動いてみて、自分の考えをレポートにまとめる。	写真を見て、アップとルーズの視点から、運動会の紹介リーフレットを作成する。	物語を要約して紹介文を作成する。
段落		大きな力 また動く	形式段落 8 意味段落 3	形式段落 1 3 意味段落 4
文章構成表現の特徴		① 筆者の考え ② きっかけ ③ ④ ⑤ ⑥ 体験 ⑦ 体験のまとめ ⑧ 筆者の考え	①② ③ 話題提示 ④⑤ ⑥ 具体的事例 ⑦⑧ 筆者の考え	①② ③ 話題提示 ④⑤ ⑥⑦ 調査について ⑧⑨ ⑩⑪ ⑫ 予想に基づく調査 ⑬⑭ 筆者の考え
つけたい力	読むこと	○文章構成（初め・中・終わり） ○事実と考への読み分け ○説明の仕方（体験を語る） ○引用しながら自分の考えをまとめる	○文章構成（文章の組み立て方） ○写真を使った説明の仕方 ○対比を使った説明の仕方 ○文章のまとめ方（このように） ○文末表現の工夫 ○問いかけの仕方	○文章構成（文章の組み立て方） ○要約の仕方 ○初めと終わりの類似点とその効果 ○事実と考へ ○図を使った文章の工夫
	用語	文章構成・引用・初め・中・終わり	対比・まとめ・意味段落・文章構成・図・表現の工夫	要約・引用・図・表現の工夫・事実と考へ
学んだことの活用場面		○理科の考察。	○国語「新聞リーフレットを作ろう」で学んだことを生かして書く。	○読書をした際にあらすじを書く。
広げる深める交流	内容	○本文を引用した文章について ○引用した文章を基に自分の考えをまとめることについて	○構成の仕方が発表の対象者に対して適しているかについて ○説明文から読み取れること ○筆者の説明の仕方の工夫について	○構成の仕方が発表の対象者に対して適しているかについて ○段落相互ごとの要約について
	方法形態形式	○引用した部分と同じ人たちで読み合う。	○3人グループで行う。 ○訂正は赤、良いところは青で書き込む。 ○グループで完成した意見文を読み合い、感想を伝え合う。	○3人グループで行う。 ○訂正は赤、良いところは青で書き込む。 ○グループで完成した意見文を読み合い、感想を伝え合う。

「読むこと」の教材研究（5年）

【物語文教材の系統表】

学年		5年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう	すぐれた表現に着目して、物語のみりよくが伝わるように朗読しよう	特色をとらえながら読み、物語をめぐって話し合おう
教材名		「名前つけてよ」	「大造じいさんとガン」	「わらぐつの中の神様」
ねらい		登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、作品についての自分の考えをもち、それを発表し合って広げたり深めたりすることができる。	自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をするとともに、優れた叙述について自分の考えをまとめ、朗読で表現することができる。	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、目的に応じて複数の本や文章などを選んで比べて読むことができる。
問題解決的な言語活動		感想をまとめる観点を学び、自分が選んだ短編の物語について感想文を書き、交流する。	場面の様子や登場人物の心情を自分がどうとらえ、どう表現するかを考え、「朗読発表会」で交流する。	同じ作者の作品を比べて読み、選んだ作品の魅力を複数の観点でまとめ、「魅力ボックス」を作り交流する。
段落		意味段落 5	意味段落 5	意味段落 3
文章構成表現の特徴		○「起」「承」「転」「結」 ○二人の登場人物の心情の変化を「転」の場面を2段階に分けながら、細やかに描写している。	○「前書き」と「本文」に分かれ、「本文」は4場面構成となっている。 ○動物についての精緻な洞察と細やかな描写、豊かな情景描写が特徴的。	○現在一過去一現在となり、謎解きのような「額縁構造」となっている。 ○方言を用いた語りによるあたたかみのある表現が特徴。
つきたい力	読むこと	○登場人物の心情や相互関係の移り変わり ○登場人物の会話や行動とそれについての描写から、人物像とその心情の変化を読み取る。	○登場人物の心情の移り変わり ○情景描写や心情表現、行動を表す言葉や文に着目し、人物像を読み取る	○物語の構成 ○物語の特色をとらえる ○人物像を会話や行動からつかみ、人物の関わり合い、関係の深まりを読む
	用語	相互関係・心情・描写・人物像・人物 相関図・感想	朗読・情景描写・人物相関図	構成・人物像・表現・人物相関図
学んだことの活用場面		○「本は友だち」での読書紹介 ○夏休みの読書感想文	○並行読書（椋鳩十作品） 「片耳の大シカ」「月の輪グマ」「アルプスのもう犬」「金色の足あと」「栗野岳の主」を紹介する。	○並行読書（杉みき子作品） 「かくまきの歌」「小さな雪の町の物語」「小さな町の風景」
広げる深める交流	内容	○登場人物の心情が表れている優れた叙述について（どの表現からどのような心情が読み取れるか・なぜそう読み取れるのか） ○感想について（描かれた人物の関わり・自分が思ったことと理由・自分だったら…）	○登場人物の心情が表れている優れた叙述について（どの表現からどのような心情が読み取れるか・なぜそう読み取れるのか） ○朗読の方法について（どの表現をどのように工夫して朗読するか・なぜそのように読むのか）	○登場人物の人物像について（どの表現から、どのような人物像が読み取れるか・なぜそう読み取れるのか） ○表現の効果について（どの表現から、どのような印象を受けるか・なぜそのように感じるのか。） ○主人公の変容について（何が・どのように・なぜ変わったか）
	方法形態形式	○考えの形成は3人グループが基本 ○同じ叙述に注目した人同士の交流（移動しながら立ち話交流） ○グループでの感想文発表	○朗読練習（三人グループ交流） ○同じ叙述に注目した人同士の交流（移動しながら立ち話交流） ○グループでの朗読発表会	○考えの形成は3人グループが基本 ○同じ叙述に注目した人同士の交流（移動しながら立ち話交流） ○グループでの魅力ボックス交流（同じ作品を選んだグループ）

「読むこと」の教材研究（5年）

【説明文教材の系統表】

学年		5年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう。	説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう	事例と意見の関係をおさえて、自分の考えをまとめよう
教材名		「見立てる／生き物は円柱形」	「天気を予想する」	想像力のスイッチを入れよう
ねらい		要旨をとらえて自分の考えを明確にしながらか読み、感想を発表し合って、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について感想を発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	考えと事例とのつながりに注意し、自分の知識や経験と関連づけながらか読み、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
問題解決的な言語活動		要約したり、要旨をまとめたりしながら、自分の考えも盛り込んだ「読み取り新聞」を作成する。	説得力のある説明のしかたを「アイテム」としてまとめ、「グラフや表を用いて書こう」の書く活動に生かす。	筆者の主張をふまえ、自分の知識や経験を交えて、「メディアとの関わり方」というテーマで自分の考えをまとめる。
段落		見立てる 形式段落6 意味段落3 生き物は円柱形 形式1 1 意味4	形式段落9 意味段落4	形式段落1 6 意味段落3
文章構成表現の特徴		見立てる ① 始まり 話題提示 ②③④⑤ 中 例と性質 ⑥ 終わり 筆者の考え 生き物は円柱形 ① 始まり 筆者の考え ②③④⑤ 中1 円柱形の例 ⑥⑦⑧⑨⑩ 中2 仮説による問いと答え ⑪ 終わり 筆者の考え	①②③ 話題提示 第1の問い 答え1 答え2 ④⑤⑥ 第2の問い 答え (根拠) ⑦⑧⑨ 第3の問い 答え (手立て) ⑩ 結論	①②③ ④⑤⑥ 話題提示 マラソンの事例 図形の事例 ⑦⑧⑨⑩ ⑪⑫⑬⑭ 報道の事例 (大切なこと) ⑮⑯ 筆者の主張 読者への投げかけ
つきたい力	読むこと	○文章構成（はじめ・中・終わり） ○要旨をとらえる ○説明の仕方（例の取り上げ方） ○筆者に対する自分の考えのまとめ方 共感・納得・疑問	○文章構成の工夫 「問い答え」「新たな問い」の繰り返し ○要旨をとらえる ○資料の効果 ○数値の効果 ○論の進め方や説明の仕方 ○資料を用いた意図と提示の仕方	○文章構成 ○要旨をとらえる ○身近な事例の使い方 ○事例と意見 ○効果的な比喩表現 ○仮定して投げかける表現
	用語	文章構成・要旨・共感・納得・疑問・例・例外・キーワード（繰り返し）	表現の工夫（構成）・中心文・問いと答え・数値の効果・資料の効果	文章構成・要旨・事例と意見・比喩・具体的
学んだことの活用場面		○「読み取り新聞」を読書紹介の方法の一つとして取り入れる。	○「グラフや表を用いて説明しよう」の単元に話し合ってまとめた「書き方アイテム」を活用する。	○社会科「情報を生かすわたしたち」との関連を図る。
広げる深める交流	内容	○段落相互の関係と小見出しについて ○意味段落ごとの要約文や要旨について	○段落相互の関係と小見出しについて ○意味段落ごとの要約文や要旨について ○グラフや表の効果について ○筆者の説明の仕方の工夫について	○段落相互の関係と小見出しについて ○意味段落ごとの要約文や要旨について ○それぞれの事例を提示した筆者の意図について ○筆者の説明の仕方の工夫について
	方法形態形式	○考えの形成は3人グループが基本 ○グループで完成した新聞を読み合い感想を伝え合う。	○考えの形成は3人グループが基本 ○同じ資料や似ているテーマを選んだ人どうしでの意見交流 ○グループで完成した説明文を読み合い感想を伝え合う。	○考えの形成は3人グループが基本 ○グループで完成した意見文を読み合い感想を伝え合う。

「読むこと」の教材研究（6年）

【物語文教材の系統表】

学年		6年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		登場人物の心情をとらえ、感想をまとめよう	自分の感じたことを、朗読で表現しよう	登場人物の関係をとりえ、人物の生き方について話し合おう
教材名		「カレーライス」	「やまなし」	「海の命」
ねらい		登場人物の言動や心情、場面についての描写を捉え、自分の感想をまとめ、友達と感想を交流することにより、自分の考えを広めたり深めたりすることができる。	作品の特徴や作者の思いを捉えたり、優れた叙述について自分の考えをまとめたりすることにより、自分が読んで感じ取った思いが伝わるように朗読できる。	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることで人物の生き方について自分の考えをまとめ、友達と考えを交流することにより、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
問題解決的な言語活動		登場人物の心情をとらえ、感想をまとめる。	読み取ってまとめた自分の思いが伝わるように、朗読する。	登場人物の生き方について考え、自分の生き方について話し合う。
段落		意味段落 3	意味段落 2	意味段落 6
文章構成表現の特徴		○意地を張るきっかけになった日ーお父さんウィーク 初日ーお父さんウィーク 2日目ーお父さんウィーク 3日目 ○等身大の人物の、日常のちょっとした事件による心の揺れ動きが描かれている	○額縁構造により、「私」による一人称視点で書かれた外枠、三人称の客観的な視点によって書かれた五月と十二月の幻灯で構成されている ○作者の独特の表現が多く、独自の作品世界となっている	○主人公の少年期、青年期、壮年期になるまでの生涯が6つの場面構成で描かれている ○繰り返し出てくる言葉やキーワード「命」「村一番(一人前)の漁師」
つけたい力	読むこと	○登場人物の言動の言動とぼくの心情お父さん、お母さんの言動とぼくの言動や気持ちを対比して、ぼくの視点から心情を考えたり、想像したりする。 ○感想をまとめる 印象に残った場面や出来事を例に挙げ、そのときのぼくの心情と経験を取り入れて書く。	○表現を対比し、その情景を想像しながら読む。五月の場面、十二月の場面の擬声語、擬態語、比喩、色彩表現などを対比して、その情景を想像する。 ○他の作品を並行読書し、作者の生き方、考え方から、題名「やまなし」にした理由を読み取る。「やまなし」の作品について紹介文を書いて交流する。	○登場人物が、「太一」の成長にどんな役割をしたのか、順を追って読む。「父」「与吉じいさ」「母」「太一」の大きなかわり「太一」の考え方が大きく変わったところ ○人物の生き方について考えをまとめる。「父」「与吉じいさ」「太一」のそれぞれの生き方について考える。
	用語	登場人物・心情・地の文・語り手・読者・共感	比喩・擬態語・擬声語・対比・情景・意図	登場人物・主人公・読者・山場
学んだことの活用場面		○夏休みの読書感想文 ○卒業文集	○並行読書(宮沢賢治作品) 「注文の多い料理店」「雨ニモマケズ」「銀河鉄道之夜」「風の又三郎」	○並行読書(立松和平作品) 「山のいのち」「木のいのち」「川のいのち」「街のいのち」「田んぼのいのち」
広げる深める交流	内容	○主人公「ひろし」と同じような経験をしたことについて ○「お父さん」の心情について ○感想について (「ひろし」の心の揺れ動きについて・「甘口」「辛口」にこめられた意味・「お父さん」の視点で出来事とその後のことを見直すかどうか)	○優れた叙述から想像したことについて ○題名が「やまなし」であることの原因について ○読み取ったことを朗読でどのように表現していくかについて	○太一の気持ちが変わった場面・理由について ○人物の生き方に対する自分の考えについて
	方法形態形式	○3人グループ ○班グループでの感想発表 ○同じテーマでの感想を書いたグループでの感想発表	○同じ叙述を選んだ者でつくったグループ ○班グループでの意見交流 ○朗読発表をするグループ	○班グループでの意見交流 ○少人数(3人)での考えの交流

「読むこと」の教材研究（6年）

【説明文教材の系統表】

学年		6年		
学期		1学期	2学期	3学期
単元		筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう	筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう	筆者の考えを捉え、自分の考えと比べて書こう
教材名		「笑うから楽しい」 「時計の時間と心の時間」	「『鳥獣戯画』を読む」	「自然に学ぶ暮らし」
ねらい		筆者の主張と根拠を読み取り、自分の経験を振り返りながら自分の考えをもち、考えを発表し合うことで、友達と自分との共通点や相違点を明らかにし、自分の考えを深めることができる。	筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているのかを捉えながら読み、自分と他者とのものの見方や感じ方の共通点と相違点を明らかにし、自分の考えを深めることができる。	どのような事例や根拠を用いて、どのような考えを述べているのかを捉え、筆者の考えについて、経験や知識と照らし合わせて、自分の考えをまとめることができる。
問題解決的な言語活動		筆者の意図を捉え、自分の考えを発表する。	筆者のものの見方を捉え、自分の考えをまとめる。	筆者の考えを捉え、自分の考えと比べて書く。
段落		形式段落 8 意味段落 3	形式段落 9 意味段落 6	形式段落 9 意味段落 6
文章構成表現の特徴				
つきたい力	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と根拠を読み取り、自分の経験を振り返り、自分の考えをもととしている。 筆者の主張について、自分の考えを具体例とともに発表できる。 発表し合うことで、友達と自分との共通点や相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているかを捉える。 筆者の意図と表現の工夫との関連について考えている。 自分と他者とのものの見方や感じ方の共通点と相違点を明らかにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> どのような事例や根拠を用いて、どのような考えを述べているかを捉える。 筆者の考えについて、経験や知識と照らし合わせて自分の考えをまとめている。
	用語	筆者の意図をとらえる・時間についての定義	絵を読む・筆者の見方・自分の見方	自然に学ぶ暮らし・新しい暮らし
学んだことの活用場面		○社会科新聞で事実を踏まえて、自分の考えを述べる力を活用していく。	○「この絵わたしはこう見る」においてそれぞれの絵から読み取った自分の意見をまとめる。	○総合的な学習の時間「紹介しよう！私たちの日本」において、外国と日本を比較しながら日本のことを理解し、まとめ発表していく学びにかつようしていく。
広げる深める交流	内容	○段落相互の関係と小見出しについて ○自分の経験を踏まえた自分の考えについて	○段落相互の関係と小見出しについて ○絵に対する見方や感じ方について	○段落相互の関係と小見出しについて ○自分の考える新しい暮らしについて
	方法形態形式	○班グループで交流しながら考えを確立していく。 ○少人数（3人）での考えの交流	○班グループで交流しながら考えを確立していく。 ○似たような意見や異なる意見同士でグループを形成する。 ○少人数（3人）での考えの交流	○班グループで交流しながら考えを確立していく。 ○似たような意見や異なる意見同士でグループを形成する。